

# 縄文セミナー 2019 自然と人間のかかわりを学ぶ

縄文遺跡から出土する貝殻や動物の骨、植物の種実などから縄文時代の人々の自然の利用について考察します。

日時：令和元年 (2019年) **12月14日(土)**  
10:30~15:05 (開場 10:00)

会場：千葉県立中央博物館 講堂 (定員 150名)  
〒260-8682 千葉県千葉市中央区青葉町 955-2

申込：不要 (当日先着順)

対象：一般

参加費：無料

会場▶



## ◆ 演題・講師 ◆

10:35~11:15  
(質疑応答 10分を含む)

序論：旧石器時代から縄文時代にかけての古環境  
- 関東地方を中心として -

西内 李佳 (千葉県立中央博物館)

11:15~12:15  
(質疑応答 15分を含む)

加曽利貝塚出土資料からみた縄文時代の自然利用

佐藤 洋 (千葉市立加曽利貝塚博物館)

(休憩)

13:00~14:00  
(質疑応答 15分を含む)

微小貝類からみた加曽利貝塚の特徴

黒住 耐二 (千葉県立中央博物館)

14:00~15:00  
(質疑応答 15分を含む)

縄文時代の鯨類利用について  
- 現代の鯨類研究の視点から -

田邊 由美子 (千葉県立中央博物館)  
宮川 尚子 (千葉県立中央博物館)

※ 講演の内容及び講師は都合により変更になる場合があります。

J1グランプリ 2019の結果発表をセミナー終了後に行います。

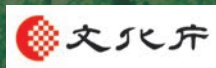
※ J1 グランプリとは：千葉の縄文文化について広く県民に周知し、興味・関心を高めることを目的として行った、県内出土縄文遺物の人気投票です。

主催 / 千葉県博図公連携事業実行委員会

問い合わせ先 / 千葉県立中央博物館

Tel: 043-265-3111 (代表)

<http://www2.chiba-muse.or.jp/NATURAL/>



平成31年度文化庁 博物館を中核とした文化クラスター形成事業